

この「研究レターHem21オピニオン」は当機構の幹部、シニアフェロー、政策研究プロジェクトリーダー、上級研究員等が研究活動や最近の社会の課題について語るコラム集です。

(「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記であるHyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Institute の略称です。)

発行：(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター ☎078-262-5713 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 (人と防災未来センター)



ChatGPTの出現で 世の中はどう変わるのか

研究戦略センター 参与 阿部 茂行

対話型AI「ChatGPT」は、どんな質問にも即座に文章で答えてくれる。このAIに「ChatGPTとは」と尋ねると、「OpenAIが開発した大規模な自然言語処理のAI(人工知能)です。GPTはGenerative Pre-trained Transformerの略で、大量の文章データを学習することで、人間のように自然な文章を生成することができます。ChatGPTは、GPTの一種で、人間との対話を行うことができます。ChatGPTは、自然言語処理や文章生成、対話システムなどの分野で幅広く利用されています。」とわずか2〜3秒で回答が画面に現れた。

教育分野ではレポートの作成などに学生が安易に使ってしまう恐れもあり、懸念が出始めている。上智大学は、AIによって生成された文章やプログラムの使用を認めず、使った場合には厳格な処分を行うことを公表した。東北大学でも、留意事項を提示し、問題点を理解した上で注意喚起などの対応を促している。京都大学では、誤情報が含まれるリスクを指摘し、自分で考え文章を書くことの大切さを総長が入学式であえて訴えた。東京大学も、AIのみを用いた論文は禁止としている。

その一方、民間企業等ではカスタマーサポート、マーケティング、翻訳など多くの分野で既に使われ始めている。政府も著作権や個人情報保護、安全性について懸念があるため、関係省庁で議論するチームを設置し検討するとしているが、農林水産省はいち早く「農林水産省共通申請サービス」のマニュアル改定作業に限定的に活用すると発表した。また地方自治体でも、横須賀市はChatGPTを業務で試験的に活用し始めた。

最も先行しているのは小説の分野だ。AmazonではAIによる小説が販売されているし、「星新一賞」では、今年初めてAIを使って執筆された小説が一般部門優秀賞を受賞した。葦沢かもめ著『あなたはそこにいますか?』がそれで、著者はAIが生成したあらすじを基に、AIが書いた文章の編集を経て、AIと共同で小説を作成したという。2603の応募作品中AIを利用した作品が114もあったという。世の中は着実にAIを受け入れ変化してきている。

経済学の分野でもChatGPTが注目されている。全米経済研究所のWorking Paperで、その評価論文が2月に発表された^{*}。経済分析にどの程度役立つかを、6分野、25応用例に対して評価を試みている。6分野は、アイデアの創出、文章作成、研究補助、データ分析、コーディング、数式の導出で、分野ごとに

数例について、かなり役立つを3、役立つを2、まだ実験段階を1で評価した。最も高い評価は文章作成であり、5つの応用例すべてが3であった。中でも要約からキャッチコピーを作成させるという事例が秀逸であった。研究補助は概ね高い評価ではあるが、文献検索は1としている。データ分析では、テキストからデータを抜き出したり、データを再フォーマットしたりすることが3、コンピューター言語のコーディングも3で、ことに他の言語への変換は評価が高い。最後の数式の導出の評価は6分野の中で最も低い。私の体験とほぼ一致する内容であった。

ChatGPTは注意すべき点も多い。AIが利用する情報は主にインターネット上のものであり、その中には商標権や著作権などの権利が存在する情報も多くある。利用者が権利違反を知らないうちに犯す可能性があるのだ。また、インターネット上の情報が常に正確であるとは限らない。大事な意思決定をするためには、インターネット上には存在しない情報を活用する必要もある。その意味では、ChatGPTは大いに役に立つが、その結論をうのみにせず慎重な対応が求められることも確かだ。

多くの職種で労働者がAIとロボットに取って代わられる可能性について前回の研究レターで取り上げた。ChatGPTの出現でAIが何たるかを体験でき、AIが労働者の生産性を上げるであろうことも分かってきた。高齢者の職業選択の幅は現在のところ限られており、警備などに多くが就業しているが、今後はAIの助けを借りて、経験豊富で判断力に優れた高齢者の職業選択の幅が広がることも期待できる。

^{*}Anton Korinek, "Language Models and Cognitive Automation for Economic Research", NBER Working Paper 30957, Feb. 2023.

阿部 茂行 氏

Profile

1948(昭和23)年生まれ
ハワイ大学経済学博士
同志社大学名誉教授
京都大学東南アジア地域研究研究所連携教授
(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター
参与